

所蔵資料展

榎本武揚

幕末と明治を

駆け抜けた男

一役後100周年を

記念して

展示期間 平成20年11月1日(土)～12月25日(木)

場 所 北方資料室展示コーナー

榎本武揚 幕末と明治を駆け抜けた男

～没後 100 周年を記念して～

今年は、幕末から明治にかけて幅広い分野で活躍した榎本武揚（1836-1908）没後100周年にあたり、当館で所蔵する榎本武揚に関する資料を紹介します。

小樽を始め、函館、札幌など各地でも様々な記念事業が開催されています。

明治維新時、函館で最後の決戦を挑んで敗れ、投獄3年、後に許され、明治政府の数々の要職を歴任したことで、広く知られていますが、新たな一面も発見できるかもしれません。

目 次

- 1 榎本武揚関連資料 p1～4
- 2 箱館戦争関連資料 p5～7
- 3 展示資料以外の榎本武揚関連資料 p8～10
- 4 その他（略年譜等）

1 榎本武揚関連資料

図 書

	書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号
1	NHK歴史への招待 第25巻 白虎隊と榎本艦隊 ((新コンパクト・シリーズ) [077]) NHK/編 東京 日本放送出版協会 1990.4 246p 18cm 請求記号: 210.51/NI
2	榎本開拓中判官の書簡 榎本 武揚/著 河野 常吉/編 [出版地不明] [出版者不明] 1926 9p 19cm 請求記号: 289/E
3	榎本艦隊北へ (広済堂文庫) 星亮一/著 東京 広済堂出版 2003.6 282p 16cm 請求記号: F/HO
4	榎本武揚 (現代視点) 旺文社/編 東京 旺文社 1983.9 192p 26cm 請求記号: 289/E
5	榎本武揚 時代を疾走した国際人 山本厚子/著 東京 信山社出版 1997.8 285p 19cm 請求記号: 289/E
6	榎本武揚 (中公文庫) 改版 安部公房/著 東京 中央公論社 1990.2 355p 15cm 請求記号: F/A
7	榎本武揚 明治日本の隠れたる礎石 加茂儀一/著 東京 中央公論社 1960 299p 函版 22cm 請求記号: 289/E
8	榎本武揚 物語と史蹟をたずねて 赤木駿介/著 東京 成美堂出版 1980.12 240p 19cm 請求記号: 289/E
9	〔榎本武揚〕 函館歴史かわら版 市立函館博物館/監修 函館 榎本武揚没後100周年記念実行委員会 [2008] 4p 36cm 請求記号: P289/E
10	榎本武揚 幕末・明治二度輝いた男 (PHP文庫) 満坂太郎/著 東京 PHP研究所 1997.8 359p 15cm 請求記号: F/MI/
11	榎本武揚から世界史が見える (PHP新書 338) 臼井隆一郎/著 東京 PHP研究所 2005.3 293p 18cm 請求記号: 289/E
12	榎本武揚シベリア外伝 中園英助/著 東京 文芸春秋 2000.5 350p 20cm 請求記号: F/NA
13	榎本武揚シベリア日記 (講談社学術文庫 1877) 榎本 武揚/[著] 講談社/編 東京 講談社 2008.6 360p 15cm 請求記号: 290.9/E

書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号	
14	榎本武揚書翰集 写 榎本武揚／著 1冊 25cm 請求記号：289/E
15	榎本武揚伝 井黒弥太郎／著 札幌 みやま書房 1968 418p 函版 22cm 請求記号：289/E
16	榎本武揚と対雁 榎本武揚顕彰碑及榎本公園落成記念 榎本公園建設期成会／編 〔江別〕 榎本公園建設期成会 1970 26p 函版 21cm 請求記号：289/E
17	榎本武揚と東京農大 シリーズ・実学の森 松田藤四郎／著 東京 東京農大出版会 2001.7 214p 19cm 請求記号：289/E
18	榎本武揚と函館戦争 （週刊ビジュアル日本の合戦 No. 28） 東京 講談社 2006.1 34p 30cm 請求記号：210.51/E
19	榎本武揚西比利亞日記 広瀬彦太／編 東京 東兆書院 1943.6 330p 19cm 請求記号：290.9/E
20	榎本武揚文書目録 （憲政資料目録 第3） 国立国会図書館参考書誌部／編 〔東京〕国立国会図書館 1993 1冊 27cm 請求記号：289/E
21	榎本武揚未公開書簡集 榎本武揚／〔著〕 榎本隆充／編 東京 新人物往来社 2003.4 244p 22cm 請求記号：289/E
22	勝海舟・榎本武揚伝 田中惣五郎／著 東京 日本軍用図書 1944 437p 19cm 請求記号：289/E
23	近代日本の万能人・榎本武揚 1836-1908 榎本 隆充／編 高成田 享／編 東京 藤原書店 2008.4 338p 21cm 請求記号：289/E
24	幻影のユートピア 歴史・ルポ・評論・北方問題（おりじん 創刊号） 榎本武揚伝説 別役 実／著 東京 おりじん書房 270p 22cm 請求記号：910.4/G
25	航（こう） 榎本武揚と軍艦開陽丸の生涯 網淵謙錠／著 東京 新潮社 1986.4 321p 20cm 請求記号：289/E
26	薩哈連嶋石炭坑開採見込書 （榎本武揚が黒田開拓長官に呈したものの写し） ブッコフスキー／著 榎本武揚／訳 〔出版地不明〕 1876 1冊 27cm 請求記号：567.191/B/1
27	シベリヤ日記 活字本 榎本武揚／著 大連 南満洲鉄道株式会社総裁室弘報課 1939 17, 291p 函版14p 23cm 請求記号：290.9/E/128
28	小説榎本武揚 二君に仕えた奇跡の人材 童門冬二／著 東京 祥伝社 1997.9 402p 20cm 請求記号：F/D
29	資料榎本武揚 加茂儀一／編集・解説 東京 新人物往来社 1969 418p 20cm 請求記号：289/E

	書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号
30	ドキュメント榎本武揚 明治の「読売」記事で検証 (シリーズ・実学の森) 秋岡伸彦／著 東京 東京農業大学出版会 2003.8 108p 19cm 請求記号：289/E
31	人間登場 北の歴史を彩る (NHKほっからんど212 第3巻) 榎本 武揚 合田一道／著 番組取材班／著 札幌 北海道出版企画センター 2004.6 253p 19cm 請求記号：281.04/NI/3
32	幕臣たちと技術立国 江川英竜・中島三郎助・榎本武揚が追った夢 佐々木 譲／著 東京 集英社 2006.5 222p 18cm 請求記号：281.04/B
33	幕末維新えぞ地にかけた男たちの夢 幕臣榎本武揚と“蝦夷島政権”にかけた夢 北国 諒星／著 札幌 北海道出版企画センター 2008.10 256p 19cm 請求記号：210.51/B
34	没後100年榎本武揚 箱館戦争の光と影 (市立函館博物館特別展展示図録平成20年度) 函館 市立函館博物館 2008.7 1冊 30cm 請求記号：069/HA/H20
35	北方の空白 北方圏における日本・ロシア交渉史 (時事新書) 榎本武揚 吉田武三／著 東京 時事通信社 1970 273p 図版 18cm 請求記号：210.18/Y
36	北方未公開古文書集成 第7巻 (蝦夷・千島古文書集成) 寺沢一／〔ほか〕責任編集 [7巻：A. S ポロンスキー／著 榎本武揚／他訳] 東京 叢文社 1979.7 209p 22cm 請求記号：081/HO/7
37	都通り百年物語 歴史の街小樽 小樽都通り商店街振興組合／編集 小樽 小樽都通り商店街振興組合 2002.12 〔10p〕 21cm 請求記号：P291.722/MI/1

児童書

38	榎本武揚 (少年少女伝記読みもの) 木暮正夫／著 東京 さ・え・ら書房 1982.4 192p 23cm 請求記号：J289/E
39	読みがたり北海道のむかし話 榎本武揚をだました白ギツネ p75-77 北海道むかし話研究会／編 北海道学校図書館協会／編 東京 日本標準 2005.7 255p 21cm 請求記号：J388.1/HO

雑 誌

	雑 誌 名	出 版 者	出 版 年	大 き さ	記 事 名
1	クオリティ 43巻2号	札幌 太陽	2008.2.1	26cm	北方誌 (榎本武揚没後100周年 小樽、函館、札幌で大がかりな記念事業) p90~91
2	クオリティ 43巻9号	札幌 太陽	2008.9.1	26cm	北方誌 (えっ!?ここにこんなものが Vol. 4 榎本武揚書「幌内神社」の掲額) p124~125
3	月刊小樽 528号	小樽 月刊おたる社	2008.6.1	19cm	北方誌 (パレット 明治のダンディ [榎本武揚・北垣国道]) p14~15
4	THE JR Hokkaido No. 244	北海道ジェイ・アール・エージェンシー	2008.6.1	26cm	北方誌 (特別企画 榎本武揚、北海道に刻んだ足跡 合田 一道/文) p12~13
5	春秋ほっかいどう 2003年早春号	北海道社会開発公社	2003.2.20	26cm	北方誌 (「歴史断章・碑その39 榎本武揚と小樽の結びつき 小樽市都通商店街再生の目玉 伏木田 照澄/著) p9~11
6	旬刊時事ジャーナル No. 1014	時事ジャーナル	2004.1.15	26cm	北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚1 青山 【やすし】/著) p14~15
7	旬刊時事ジャーナル No. 1015	時事ジャーナル	2004.2.1	26cm	北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚1 青山 【やすし】/著) p16~17
8	酪農ジャーナル 61巻8号	酪農学園大学エクステンション・センター	2008.8.1	30cm	北方誌 (「酪農の碑」を訪ねて 18 榎本武揚の「北辰社牧場跡」の碑と江別・対雁の開拓 神奈川 透/著) p46

2 箱館戦争関連資料

図 書

書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号	
1	埋もれていた箱館戦争 脇哲／著 札幌 みやま書房 1981.5 334p 19cm 請求記号：210.51/W
2	逆転！維新箱館戦争 (Tokuma Onovels) 広瀬仁紀／著 東京 徳間オリオン 1994.1 242p 18cm 請求記号：F/HI
3	五稜郭・箱館戦争 市立函館博物館五稜郭分館常設展示図録 第2版 市立函館博物館／編 函館 市立函館博物館友の会 2002.5 81p 30cm 請求記号：069/HA
4	五稜郭 幕末对外政策の北の拠点 (日本の遺跡 27) 田原 良信／著 同成社 2008.5 186p 20cm 請求記号：210.51/G
5	最後の五稜郭決戦土方歳三、箱館に死す！ 『週刊再現日本史』第7号 幕末維新 10 1869～1870 東京 講談社 2001.6 42p 30cm 請求記号：210.51/SA
6	最後の戊辰戦争 五稜郭の戦い 「歴史読本」第24巻第11号特集 東京 新人物往来社 1979 p1～256 21cm 請求記号：210.51/SA
7	新撰組の謎 土方歳三と箱館戦争 市立函館博物館／編 函館 市立函館博物館 1993 34p 21cm 請求記号：069/HA/H5
8	週刊名城をゆく 五稜郭・松前城 (小学館ウイークリーブック) 東京 小学館 2004.5 35p 30cm 請求記号：521.82/SH/14
9	硝煙の彼方に 箱館戦争雑兵物語 鈴木清司／著 [函館] [鈴木清司] 1991 271p 20cm 請求記号：210.51/SU
10	総覧『箱館戦争』須藤隆仙著論集 第1巻 須藤 隆仙／著 函館 南北海道史研究会 2006.11 180p 22cm 請 求記号：210.51/SO/1
11	「滝屋日記」に見た明治維新 もう一つの箱館戦争 中村治子／著 弘前 北方新社 1998.3 298p 21cm 請求記号：210.51/TA/1
12	誰も書かなかった箱館戦争 脇哲／著 東京 新人物往来社 1988.11 240p 20cm 請求記号：210.51/W
13	箱館五稜郭物語 河合 敦／著 東京 2006.7 247p 19cm 請求記号：210.51/HA

書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号						
14	箱館五稜郭 物語・日本の名城	星亮一／著	東京 成美堂出版	1988.11	216p	19cm 請求記号：210.51/HO
15	箱館戦争	武内収太／著	函館 五稜郭タワー	1968	289p	19cm 請求記号：210.51/TA/1
16	箱館戦争	武田八洲満／著	東京 毎日新聞社	1988.11	254p	20cm 請求記号：210.51/TA
17	箱館戦争 北の大地に散ったサムライたち	星 亮一／著	東京 三修社	2006.12	325p	20cm 請求記号：F/HO
18	箱館戦争 新分析現代に生きる戦略・戦術	旺文社／編	東京 旺文社	1984.10	176p	26cm 請求記号：210.51/HA
19	箱館戦争 続 (角川文庫)	星亮一／〔著〕	東京 角川書店	1989.4	291p	15cm 請求記号：F/HO
20	箱館戦争 (んだんだブックス)	加藤貞仁／著	秋田 無明舎出版	2004.3	153p	21cm 請求記号：210.51/HA
21	箱館戦争始末記	栗賀大介／著	東京 新人物往来社	1973	233p	図 20cm 請求記号：F/KU
22	箱館戦争写真集	菊地明／著 横田淳／著	東京 新人物往来社	1999.4	199p	20cm 請 求記号：210.51/HA
23	箱館戦争史料集	須藤 隆仙／編	東京 新人物往来社	1996.8	304p	22cm 請求記号：210.51/HA
24	箱館戦争特集	調布 三十一人会		2000.6	246p	21cm 請求記号：210.51/HA
25	箱館戦争のすべて	須藤隆仙／編	東京 新人物往来社	1984.12	310p	20cm 請求記号：210.51/SU
26	箱館戦争銘々伝 上	好川 之範／編 近江 幸雄／編	東京 新人物往来社	2007.8	328p	20cm 請求記号：210.51/HA/1
27	箱館戦争銘々伝 下	好川 之範／編 近江 幸雄／編	東京 新人物往来社	2007.8	351p	20cm 請求記号：210.51/HA/2

書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号

28 土方歳三蝦夷の道&箱館戦争物語

旅人 も～さん／著 函館 自遊旅出版工房 2008.6 407p 21cm

請求記号：291.8/HI

29 武州にねむれ 幻影箱館戦争

刀能京子／著 東京 新風舎 1999.9 199p 19cm 請求記号：F/TO

30 物語五稜郭悲話（榎本武揚 まぼろしの蝦夷共和国 須藤 隆仙/著）ほか

新人物往来社／編 東京 新人物往来社 1988.8 245p 20cm

請求記号：210.51/MO

児童書

31 乙部町歴史シリーズ 新北海道の夜明け〔箱館戦争〕明治政府軍の乙部上陸

乙部町／〔編〕 乙部町（桧山）乙部町 1991 88p 26cm

請求記号：J218.16/O/1-1

32 まんが北海道の歴史 上 古代～箱館戦争 石川寿彦／著 札幌 石川寿彦 1984

174p 19cm 請求記号：J210.1/I/1-1

追加：展示資料以外にこんな榎本武揚関連資料もあります。

図 書

書名・著者名・出版者・出版年・ページ・大きさ・請求記号	
1	榎本武揚関係資料 北海道新聞記事(昭和41. 1. 24)切抜 榎本武揚の再評価 演劇「明治維新を見ての記事」 請求記号：P289/E
2	榎本武揚と母恋 私設市街開削秘録「むろらん市政だより」掲載 複写本 室蘭 〔室蘭市〕〔1974〕1枚 26cm 請求記号：P216.61/E
3	先人からの伝言 1～9「朝日新聞 北海道版」連載(2008. 1. 1～11) 記事切り抜き綴 1：川田竜吉. 2：荻野吟子. 3：クラーク. 4：知里幸恵. 5：黒沢西蔵. 6：榎本武揚. 7：江差の繁次郎. 8：宮沢賢治. 9：久慈次郎) 〔札幌〕〔朝日新聞北海道支社〕〔2008.1〕10枚 42×30cm 請求記号：P281.04/SE
4	西伯利亚日記写 卷之1 榎本武揚／著 東京 海軍有終会 1935 66丁 27cm 請求記号：290.9/E/1
5	西伯利亚日記写 卷之2 榎本武揚／著 東京 海軍有終会 1935 59丁 27cm 請求記号：290.9/E/2
6	旅する長崎学 7 近代化ものがたり 1 長崎は「地の都」だった - 近代化の学 校西から東へ送った風 (p29；榎本武揚. p36；松本良順. p57；山県勇三郎 所収) 〔長崎〕長崎文献社 2007.12 64p 21cm 請求記号：P281/TA
7	武揚伝 上 佐々木 譲／著 東京 中央公論新社 2001. 7 555p 20cm 請求記号：F/SA/1
8	武揚伝 下 佐々木 譲／著 東京 中央公論新社 2001. 7 601p 20cm 請求記号：F/SA/2

雑 誌

	雑 誌 名 ・ 出 版 者 ・ 出 版 年 ・ 大 き さ ・ 記 事 名
1	伊能忠敬研究 41号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2005.8.9 26cm 北方誌 (伊能忠敬未公開書簡より その三 伊能妙薫宛 箱田園右衛門からの依頼状 [箱田家と良助の生い立ち他] 伊藤 栄子／著) p54～58
2	伊能忠敬研究 42号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2005.11.9 26cm 北方誌 (良助の次男、榎本武揚(前号のつづき) 伊藤 栄子／著) p44～50
3	伊能忠敬研究 43号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2006.2.20 26cm 北方誌 (良助の次男 榎本武揚(2) 伊藤 栄子／著) p56～62
4	伊能忠敬研究 44号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2006.5.27 26cm 北方誌 (良助の次男 榎本武揚(3) 伊藤 栄子／著) p56～62
5	伊能忠敬研究 45号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2006.8.16 26cm 北方誌 (良助の次男 榎本武揚(4) 伊藤 栄子／著) p59～65
6	伊能忠敬研究 48号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2007.5.7 26cm 北方誌 (「榎本武揚文書」解説余話 伊藤 栄子／著) p61～67
7	伊能忠敬研究 50号 伊能忠敬研究会／〔編〕伊能忠敬研究会 2007.11.30 26cm 北方誌 (榎本武揚百回忌に参列して 伊藤 栄子／著) p24～25
8	月刊小樽 521号 小樽 月刊おたる社 2007.11.1 19cm 北方誌 (パレット 榎本武揚の着眼) p14～17
9	月刊小樽 525号 小樽 月刊おたる社 2008.3.1 19cm 北方誌 (パレット 詩人榎本武揚の横顔) p14～17
10	月刊小樽 527号 小樽 月刊おたる社 2008.5.1 19cm 北方誌 (ここに泉あり 榎本武揚没後100年記念事業小樽実行委員会) p52～53
11	札幌静修高校研究紀要 13号 札幌静修高等学校 1980.5.20 26cm 北方誌 (＜榎本武揚＞－時代先行者の悲哀 成田 正規／著) p1～8
12	私設北海道開拓使の会かわらばん 82号 私設北海道開拓使の会 2008.9.1 30cm 北方誌 (明治の“万能人” 榎本武揚没後100年 その生涯と業績をしのんで その1) p5

	雑誌名・出版者・出版年・大きさ・記事名
13	私設北海道開拓使の会かわらばん 83号 私設北海道開拓使の会 2008.11.1 30cm 北方誌 (明治の“万能人”榎本武揚没後100年 その生涯と業績をしのんで その2) p5~6
14	旬刊時事ジャーナル No. 1016 時事ジャーナル 2004.2.15 26cm 北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚 3 青山 【やすし】/著) p16~17
15	旬刊時事ジャーナル No. 1017 時事ジャーナル 2004.3.1 26cm 北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚 4 青山 【やすし】/著) p14~15
16	旬刊時事ジャーナル No. 1018 時事ジャーナル 2004.3.15 26cm 北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚 5 青山 【やすし】/著) p16~17
17	旬刊時事ジャーナル No. 1019・1020 時事ジャーナル 2004.4.15 26cm 北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚 6 青山 【やすし】/著) p34~35
18	旬刊時事ジャーナル No. 1021・1022 時事ジャーナル 2004.5.10 26cm 北方誌 (維新北海道人物伝 榎本武揚 7 青山 【やすし】/著) p20~21
19	はこだでい 2巻6号 幻洋社 1992.11.1 19cm 北方誌 (函館・文学の散歩道 (11) 安部公房 榎本武揚) p46~50
20	比較文化論叢 10号 札幌大学文学学部紀要 札幌 札幌大学文学学部/編 2002.9.1 21cm 北方誌 (世界はすべて実験だ 『榎本武揚』における裏切り者英雄伝 シボー, マーク/著)
21	街 タウン誌 506号 函館百点 2004.10.1 19cm 北方誌 (私論 榎本武揚と土方歳三) p10~14 p83~109

榎本武揚

1836（天保7）～1908年（明治41年）

政治家、外交官。幕臣。昌平こう黌に学び、のち箱館奉行堀利熙に従って蝦夷地、樺太をまわった。長崎の海軍伝習所に入り、築地海軍操練所教授となった。1862年（文久2）開陽丸建造立ち合いを兼ねてオランダに留学、その竣工とともにそれに乗って帰国した。戊辰ぼしんの役にあうと、開陽丸その他を率いて箱館に拠った。抗戦むなしく官軍に敗れ、五稜郭を出て降った。入獄3年、ゆるされて出獄し、開拓史に入り中判官となった。物産特に鉱山の調査にあたり、官営事業として開発に着手しようとした。これは民間の大資本によって企業化しようとする開拓顧問ケプロンと真っ向から対立した。このため、一時不遇におちいったが、1874年（明治7）海軍中将兼特命全権公使に起用され、露都に派遣された。黒田清隆の樺太処分論に結末をつけるためである。榎本の外交交渉は成功をおさめ、翌年8月、樺太千島交換条約を締結した。そのあとは開拓使のためにロシアの寒地文化を導入しようと大いに努力した。開拓に貢献した馬車、馬そり、馬そり、蹄鉄、亜麻などはその一端である。さらに日露両国間の貿易をすすめ、黒田開拓長官をしてこれを実行させた。北海道内で事業を経営したが、江別 対 雁 農場は進歩的なものであった。1878年（明治11）帰国にあたり、シベリアの広野を走破し、『シベリア日記』を書いた。のち、海軍卿、駐清公使、逓信、農商務、外務の各大臣を歴任した。

出典：『北海道大百科事典 上 あーそ』（北海道新聞社／編集 札幌 北海道新聞社 1981
請求記号：031/H0/1）

箱館戦争

明治維新時最後の内戦。1868～1869年（明治元～2）にかけて旧幕府脱走軍と新政府軍が、箱館を中心に道内各地で展開した戦い。1868年8月19日夜中、奥羽列藩同盟の再三の要請にこたえ、旧幕府海軍艦隊は、品川湾を脱走し仙台へ向かったが、時期すでに遅く奥羽同盟は崩壊していたため蝦夷地開拓によって旧徳川家臣の救済をはかるべく仙台を出帆した。この時、北関東・東北各地を転戦していた旧幕府脱走陸軍を收容した。10月20日開港場箱館を避けて森町鷺ノ木に上陸した脱走軍は、箱館府派遣の守備兵と峠下・七重・大野などで戦闘になった。

戦闘に不慣れで装備の劣った守備兵は、連戦連敗。箱館府知事清水公考は、青森へ逃れた。蝦夷地に止まった松前藩も、土方歳三率いる一隊に松前・江差を制圧され、藩主は小舟で青森へ逃れ、蝦夷地は脱走軍の手中に帰した。12月中旬彼らは、士官の投票で首脳人事を決することとなり、榎本武揚を総裁、松平太郎を副総裁に選び、五稜郭を本拠に仮政権を樹立。特に開拓に意を注ぎ、開拓奉行を設け沢太郎左衛門を選び、室蘭をその拠点とした。一方、新政府へは、自国民の安全確認のため箱館に来た英仏軍艦の船将を通じて蝦夷地を徳川家の封土とするよう嘆願した。しかし、新政府は、この嘆願を拒否すると同時に1869年3月征討軍を派遣した。

この情報をキャッチした脱走軍は、開陽を失って低下した海軍力挽回のため、3月25日南部（元岩手県）宮古湾へ甲鉄艦（新政府の旗艦）奪取作戦を敢行したが、ガトリング砲の連射に遭い失敗した。4月9日新政府軍は江差北方乙部の浜から上陸を開始。17日には松前を奪回。29日上磯・矢不來を攻落す。5月11日箱館山背面からの奇襲作戦により市街地を奪回。ここで新政府軍は、降伏勧告交渉を開始した。まず15日兵糧尽きた弁天台場が降伏。16日降伏を拒否した千代ヶ岡台場を攻略。守将中島三郎助父子戦死。17日五稜郭も降伏に衆議一決し、18日開城。榎本ら首脳陣は東京へ護送され陸軍糺問所へ収監。1872年許されて開拓使に出仕した。そのほかの者は、青森・秋田のち弁天台場で謹慎、1870年秋許された。

榎本 武揚 略年譜

年号	西暦	年齢	榎本武揚年譜
天保7年	1836	1	8月25日、幕臣榎本園兵衛武規の次男として江戸に生まる
安政3年	1856	21	4月、長崎海軍伝習所に入る
安政5年	1858	23	2月、長崎海軍伝習所卒業 ◇六月、江戸の築地海軍操練所教授となる
文久元年	1861	26	11月、アメリカ留学決定
文久2年	1862	27	6月18日、オランダ留学に変更して出発
文久3年	1863	28	4月、オランダ着
元治元年	1864	29	この年、ドイツ、デンマーク戦争に観戦武官として従軍
慶応2年	1866	31	7月、オランダにて開陽丸竣工 ◇10月25日、開陽丸で帰国の途につく
慶応3年	1867	32	3月26日、横浜着。まもなく軍艦乗組頭取（船将）を拝命
明治元年	1868	33	正月、開陽丸にて大阪に進み、のち将軍のあとを追って江戸に帰る。この月、海軍副総裁を拝命 ◇8月19日、艦隊を率いて品川沖より脱走し、9月仙台湾に入る。陸路を北上した陸軍奉行大鳥、土方らと合流 ◇10月20日、蝦夷地鷲の木に上陸、続いて箱館を占領し、五稜郭に拠る ◇11月8日英仏館長に会い実質的な政権として承認さる ◇12月15日、新政権の成立を宣し、蝦夷島総裁となる
明治2年	1869	34	2月19日、ガルトネルと開墾条約を結ぶ ◇5月14日、『海律全書』を官軍の黒田に贈り、玉砕を決意。同月18日、榎本ら五稜郭を出て降服 ◇6月30日、東京着入獄
明治3年	1870	35	この年、牢中にて学習に努め、北海道開拓案を検討
明治5年	1872	37	正月6日、出牢して親類宅に謹慎 ◇3月6日放免。同月八日、開拓使に出仕、北海道釧山検査巡回を拝命。大島らも開拓使に出仕 ◇5月30日、函館上陸。6月1日より函館近傍の山の鉱物調査（－6月8日）。夏にかけて道北東地方の鉱物、その他の調査、9月より後志地方の石炭山調査
明治6年	1873	38	1月17日、開拓中判官拝命 ◇3月、いわゆる三者会談。ケプロンとの対立明らかとなる ◇8月末、イクシベツ空知川沿岸の石炭山調査（－12月） ◇10月7日、札幌市を発ち、道東調査に赴く ◇12月22日帰京届を出す
明治7年	1874	39	1月14日、海軍中将拝命 同18日、黒田の案により樺太問題処理のための特命全権公使拝命 ◇6月10日、ペテルブルグに着任。同月23日、国土交換の第1回交渉に入る ◇この間交渉のかたわら、シベリア・千島の歴史地理・物産調査

年号	西暦	年齢	榎本武揚年譜
明治8年	1875	40	交渉は島上境界より千島・樺太交換交渉に入り、4月17日、政府は交換に同意 ◇5月7日、千島・樺太交換条約調印 ◇8月22日、東京で批准書を交換 ◇8、9月、ヨーロッパ視察
明治9年	1876	41	この年、ペテルブルグにて大陸政策を構想。また、千島開発について調査
明治10年	1877	42	西南戦争により帰国延期、露土戦争による情勢にそなえて滞在
明治11年	1878	43	7月26日、シベリア経由帰国の途につく ◇9月28日、小樽上陸。古代文字を調査 ◇10月21日、帰京
明治12年	1879	44	2月12日、条約改正取調御用掛 ◇9月10日、兼補外務省二等出仕 ◇11月6日、兼任外務大輔、同月18日、兼任議定官 この年、地学協会の創立を唱え、副会長
明治13年	1880	45	2月28日海軍卿兼任
明治14年	1881	46	4月7日、海軍卿兼任を免ぜらる ◇5月7日、皇居造営御用掛
明治15年	1882	47	5月27日、皇居造営事務副総裁 ◇8月12日駐清特命全権公使。皇居造営事務副総裁被免
明治18年	1885	50	10月11日、帰国 ◇12月22日 逋信大臣（伊藤博文初代）
明治20年	1887	52	5月24日、子爵に列す
明治21年	1888	53	4月30日、臨時兼任農商務大臣（黒田内閣）◇7月25日、臨時農商務大臣被免 ◇この年、日本家禽協会会長
明治22年	1889	54	2月11日、文部大臣森有礼暗殺 ◇3月22日、文部大臣 ◇12月山形内閣のもとで留任
明治23年	1890	55	5月17日、山形と合わず、文相辞任、枢密顧問官
明治24年	1891	56	3月、東京農業大学の前身徳川育英会による育英農業科を設立。管理長に就任。五月、大津事件。同月29日、外務大臣（松方内閣） ◇十一月、福沢諭吉、「瘦我慢の説」を発表
明治25年	1892	57	8月8日、外務大臣辞任、枢密顧問官
明治26年	1893	58	2月11日、議定官
明治27年	1894	59	1月22日、農商務大臣（伊藤内閣）。第4回内国勸業博覧会副総裁
明治30年	1897	62	3月29日、足尾鉍毒事件の責めを負って農商務大臣を辞任 この年、メキシコ榎本殖民地開設
明治41年	1908	71	10月26日、死去（駒込の吉祥寺に埋葬）

『榎本武揚と東京農大』（松田 藤四郎／著 東京 東京農大出版会 2001. 7
シリーズ・実学の森 請求記号：289/E）より抜書き

北海道立図書館北方資料室所蔵資料展

榎本武揚 幕末と明治を駆け抜けた男

～没後 100 周年を記念して～

発行日 平成 20 年 11 月 1 日

編集 北海道立図書館北方資料部

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

<http://www.library.pref.hokkaido.jp/>